

平成28年度 第3回タクティール®ケア I コース終了



平成28年度 第3回 認知症緩和ケア研修セミナー “タクティール®ケア I コース”が、8月20・21日(土・日)旭川市にある新旭川地区センターで開催され、5名の皆様にご参加いただきました。

当日の天候は雨模様で気温も22度位と、この時期の旭川としてはそれほど気温は高くない日でした。いつもは洞爺湖町と比べると5度~10度位(ちょっと大げさ?)は違うイメージです-^^-

今回ご参加の皆さんは、職場に申請したら快く行っておいでと言ってくれた方、体験セミナーを受講して下さった方、元々今教育関係者の方などなど、色々なお立場でタクティールケアのことを知っていただきました。“ガッテン”で放送されたオキシトシンのことや、何よりもご自身が熱心に調べて研究などされており、何よりも体験や本物を習うことの大切さ、「特にいろいろ調べたら、世の中いろいろな手技手法があるけど、タクティールケアが一番納得できて根拠もしっかりしていると感じ、だから習いに来ました」とおっしゃっていただきとても嬉しかったです。皆様の“行動力”に心から感謝です。その心は、きっとどなたかの為にこの手技を役立てたいというお気持ちの表れです。「誰かの役に立ちたい」「困っている方を支えたい」看護・介護の基本ですよ!

講座のはじめは自己紹介から。仕事のこと、趣味や気分転換方法、そしてQOLも。そして皆さんおっしゃるのは触れるということの大切さです。スキンシップと言いますが、中々触れ合うことって少なくなってきましたよね。認知症が進むと“なじみの空間”の大切さ。自分を発揮できる環境が大事です。そこには一人ではなく、関わる誰か(他者)が必要で、我々も環境の一部だとすると、一番影響を与えてしまう立場だったりします。

2日間という限られた時間ですが、皆さんがおっしゃるのは2日間でマスターできるだろうか・・・という不安?(タクティールケアで安心なはずなんです(笑))です。大丈夫です!少人数ですので集中的に実践が展開されます。早め早めの時間設定と手技毎の組み合わせを考え、時間を有効に使うべく積極的に実技指導を行い、圧の加減や施術部位の範囲、早さなどを細かくご説明させていただきます。でも、手技を受けていると穏やかな気持ちに包まれ、やっぱりスヤスヤ...と・・・OKです。それはオキシトシンの効果ですから!(^^)!

皆さんお疲れ様でしたあ。私自信も-自己成長-した感じです..。

講座後は実習に入りますが、対象者は高齢者(特に認知症などのご病気で不安を抱えている方)はもちろんのこと、職場のお仲間やご家族(身内の方)でもOKです。皆さんの持っている知識や技術でタクティールケアの対象者は広がっていきます。一人でも多くの方とのコミュニケーションの手法の一つとしてお役立てください。

今回習得されました手技が、今後の皆様のお仕事のお役に立ち、或いはスキルの一助になれば幸いです。

受講されたみなさん、実習頑張ってくださいね。応援しています。

今後は、フォローアップセミナーも随時開催して参りますので、それまでの間実習に取り組んでいただき、是非認定試験を目標にしてください。

ありがとうございました。-^^-

【研修内容】

- 第1日目 タクティールケア理論 背中・手のタクティールケア
- 第2日目 足のタクティールケア
三種(背中・手・足)のタクティールケアの復習 認知症緩和ケア理念紹介
質疑応答・ディスカッション



修了証書を手に記念撮影

2016年度 次回の講座及び フォローアップ セミナーの予定	2016/12/10~11	財田温泉高齢者ケア研修センター(地域密着特養財田の杜) (虻田郡洞爺湖町川東80番地) TEL 0142-82-4710
	※上記日程でフォローアップセミナーとしてご参加いただけます。 (12/10 PM~背中及び手のタクティールケア。 12/11 AM~三種(背中・手・足)のタクティールケア)	

受講風景(旭川会場)

タクティールケア I コース担当講師
シルヴィアホーム認定インストラクター

鈴木卓也



背中のタクティールケア



足のタクティールケア



手のタクティールケア